

令和7年10月18日 営業部有志による「海蔵院本堂改築工事」(岩手県野田村)の見学会を行いました。

設計監理・施工を手掛ける株式会社社寺工舎の菊池恭二棟梁のご案内の下、東北有数の規模を誇る社寺建築の現場を見学しました。

年内の完成に向け、盛んに工事が進んでいました。

当社では、造作用化粧材「米ヒバ材」、構造野物材「松」「杉」合計約520m³を納入させていただきました。

見学会の様子を一部ご紹介します。





正面全景

屋根の左右先端が反り上がっているのが禅宗様式の特徴です。

また、玄関に庇がなく、入ってすぐに土間になっているのも禅宗様式の特徴です。

この土間は「方丈（ほうじょう）」といい、住職の住まいのほか、法要・座禅指導・参拝者との対話など、多目的に使用される寺院の中心的な役割を担うスペースです。



「扇垂木（おおぎたるき）」

寸分の狂いなく反り上がっています。よく見ると屋根を支える垂木の断面寸法が1本1本異なっています。



「三手先（みてさき）」

伝統的な木造建築で屋根の荷重を支える組物です。

柱から前方へ「斗」と「肘木」が3段せり出した構造となっています。

三手先は建物の格付けを示す意匠でもあり、金堂や層塔など重要な建築物に用いられます。



「内陣虹梁（ないじんこうりょう）」

内陣上部にある双龍を彫刻した一本造りの虹梁です。

この龍は「毎夜門前の蓮池に水を飲みに出かけたため、恐れた村人が目玉に打ち込み目が見えない様にしてしまった」という伝説があるそうです。



「折上げ格天井（おりあげごうてんじょう）」
細い木材を升目に組み装飾としています。



「海老虹梁（えびこうりょう）」

虹のように湾曲した「虹梁」をさらにS字型に湾曲させた梁です。

海老が反り返ったような弓型をしているため「海老虹梁」の名が付けました。

高低差のある柱間を繋いでいます。

彫刻を施し、火除け・長寿の願いが込められています。



総勢 16 名にて見学させていただきました。



お昼は「お食事処 十府ヶ浦」にて、天ぷら刺身定食を頂きました。

DATE

「無量山小松寺 海蔵院」

岩手県九戸郡野田村野田第 26 地割 27

住職：福盛田 克彦 殿

「お食事処 十府ヶ浦」

岩手県九戸郡野田村野田第 19 地割 111

TEL 0194-78-2532

「株式会社 社寺工舎」

岩手県遠野市松崎町駒木 4-80-1

代表取締役 菊池 寛明

取締役 菊池 恭二

菊池恭二棟梁のご紹介

昭和 27 年 岩手県遠野市生まれ。

法隆寺宮大工棟梁 故西岡常一氏の下で社寺建築を学ぶ。

平成 2 年 7 月 社寺工舎を創業。 神社・寺院等の新築、文化財修理を専門に多数の物件を手掛ける。

平成元年 毛越寺本堂建立工事

平成 9 年 盛岡八幡宮拝殿新築工事

令和 5 年 大甕神社神門新築工事

令和 5 年 多賀城南門復元工事

令和 7 年 天徳寺保存修理工事 他多数。

平成 12 年 11 月 岩手県卓越技能者受章

平成 18 年 11 月 卓越技能厚生労働大臣表彰「現代の名工」

平成 19 年 01 月 遠野市市民文化賞顕賞

平成 19 年 10 月 遠野市市勢振興功労者表彰

平成 26 年 05 月 厚生労働省「黄綬褒章」受章



WFP バンクーバー島(カナダ)伐採現場にて。